

学 年 5年1組

氏 名 松澤凜

住 所 北佐久郡軽井沢町長倉3734

電 話 0267-45-5189

学校名 軽井沢中部小学校

メールアドレス 中山 33nakayama-atsushi@sakuedu.or.jp

題 名

電気がなくなったら

本 文 20行程度

わたしたちは、車や、テレビゲームなど、たくさんの電気を使っています。私達の生活は、ほぼ電気に支えられてできています。たとえば、ある日全ての電気が使えなくなったら、私たちはどうするでしょう？携帯も、IHもテレビも、すべて使えない状況です。あなたなら、何をしますか？あまり思いつく人はいないでしょう。よく考えてみれば、生活のほぼ80%くらいが電気です。夏でも冬でも、「電気を絶対に使わない！」という人は、少ないでしょう。最近、電気を使う機会が増えているので、節電をする機会も増えると思います。わたしたちが節電をする努力をすれば、その分、地球にも優しくなります。私たちができる節電は、次の通りです。1つ目 電源をオフにしておく。2つ目 使っていない部屋の電気を消す。3つ目 点灯時間を短くする。などです。これをやるだけで、1日、約118円節約できます。普段からこれを習慣づけている人は簡単ですが、急に言われてできる人はあまりいませんから、安心してください。少しずつでいいので、やっていけばそれが習慣づきます。そこで、まず私が2週間節電を心がけることにしました。すると、前よりも少し家の中が暗かったけれど、電気代が、すごく浮いていることに気づきました。それに、私の家はよくブレーカーが落ちるのですが、それもあまりなくなっていました。しばらく節電を続けていると、家の電気をたくさんつけているのが少し不自然になってきて、逆にまぶしいと感じることも多くなってきました。節電をしてみて、感じるということのは、人それぞれですが、私の場合、節電を習慣づけると、ほかのところも節電したくなったり、電気だけではなく、水さえも節水したくなるようになってきました。時々、家の人から、今月の電気代を見せてもらって、「何円節約できたかな。」などというのもいいかもしれません。そうでなくとも、節約の目標を自分で作ってみるのもいいかもしれませんよ。